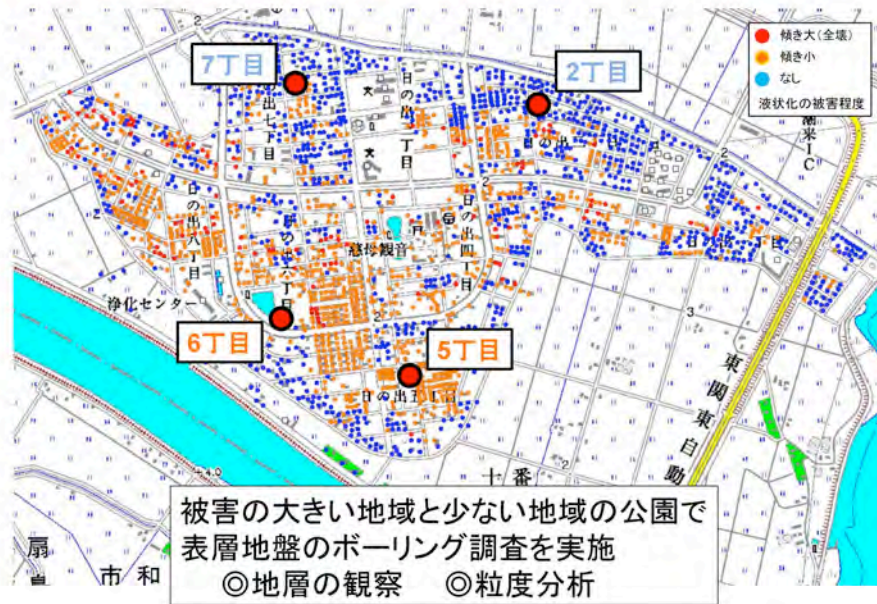
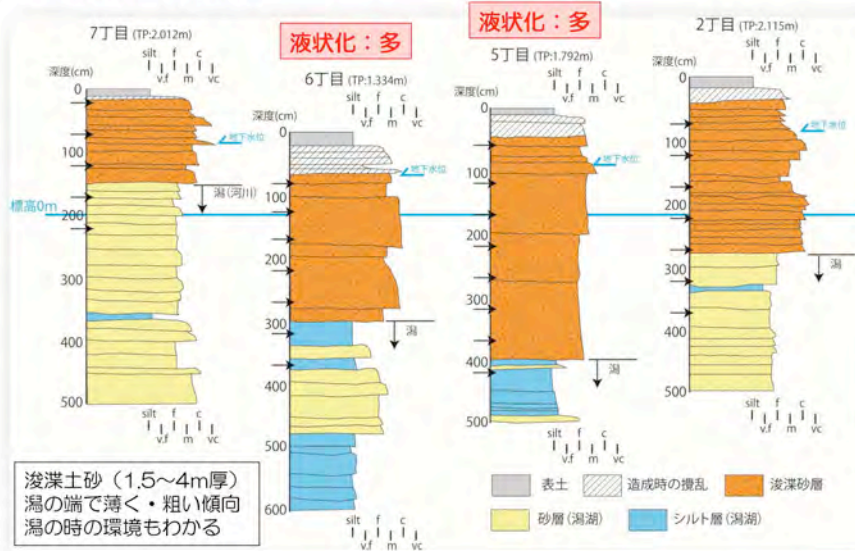


液状化被害と表層地盤との関係



潮来市日ノ出地区では、浚渫土の層厚が薄い渦端や渦中央の泥質部分で被害率が小さくなり、浚渫土が砂で層厚が厚い部分で被害率が大きくなる。総棟数のうち、約 53%の住宅が液状化している。

表層地盤の層相



浚渫砂が厚く、やや細粒な個所は液状化被害が大きい。特に 5 丁目サイトの地下水位以下(深度 3~4mより浅い部分)と 6 丁目サイトの地下水位以下(深度 3mより浅い部分)は全体に液状化しており、今回被害を受けた個所は今後も再液状化すると予想される。